

第271回



KYOTO UNIVERSITY

# 京都大学生存圏シンポジウム

東日本大震災からの復興に向けた大学での取り組みについて

開催日 2014年

時間

12月7日(日)

13:00~15:00

場所

コラッセふくしま  
4階多目的ホール

●JR福島駅(東北新幹線、東北本線、奥羽本線)西口より徒歩3分

—震災から1300日、福島のための明るい未来のために—

路線バスやバイクに搭載された  
KURAMA  
(放射線測定器)



基礎研究を現場に!

植物標本のデジタル博物館



笑顔で生活するために



一般向け  
です!

お気軽にご参加ください

参加大学・機関

●京都大学 ●東京大学 ●島根大学 ●福島大学  
●福島県農業総合センター ●東北農業研究センター

主催・共催・後援団体

主催●京都大学生存圏研究所  
後援●福島県

問い合わせ先

TEL●0774-38-3601 E-mail●yueda@rsh.kyoto-u.ac.jp 代表●上田 義勝  
<http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/articles/symposia/Symposium-0271.html>



第271回生存圏シンポジウム 東日本大震災からの復興に向けた大学での取り組みについて  
- 震災から1300日、福島 of 明るい未来のために -

## 開催要領

### 1 目的

京都府宇治市にある京都大学生存圏研究所では、2011年の震災直後より、福島県において復興支援研究を進めてきています。その成果発表の一環として、これまで京都府にて合計3階の生存圏シンポジウム「東日本大震災以降の福島県の現状及び支援の取り組みについて」を開催してきました。京都府からの後援も得つつ、関西圏に現在も避難し居住される皆様に対しての情報公開としてわかりやすい発表を行ってきた成果もあり、延べ200名以上の参加者の皆様と、活発な議論をすすめてきています。実際の講演内容（支援研究）の例としては、除染研究に関わる新しい技術報告の他、農業圏における安心・安全に向けた研究発表を行いました。

今年度のシンポジウムにおいては、これまで活動を続けてきた成果として、京都大学だけでなく、様々な大学・研究機関の皆様の協力活動のご紹介を福島県にて行いたいという希望と、大学の若手研究者を中心として、震災復興に対して少しでも支援出来る研究を実践している状況を、特に福島県にお住まいの皆様によりわかりやすくご紹介したいと考え、本シンポジウムを開催させて頂く事に致しました。是非ご来訪の上、気軽にご聴講頂けましたらと思いますので、よろしくお願い致します。

### 2 主催 京都大学生存圏研究所

後援 福島県

### 3 日時・会場

12月7日(日) 13:00~15:00  
コラッセふくしま 4階多目的ホール  
所在地: 福島県福島市三河南町1番20号

### 4 プログラム

司会 杉山 暁史  
13:00 - 13:10: 開会挨拶  
京都大学生存圏研究所 上田 義勝(発起人代表)  
13:10 - 14:00: 「KURAMAの開発と展開の現状」  
京都大学原子炉実験所 谷垣 実  
14:00 - 14:50: 「福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域等の植物相を明らかにする試み」  
島根大学 秋廣 高志、福島大学 黒沢 高秀  
14:50 - 15:00: 閉会挨拶  
京都大学化学研究所 徳田 陽明

### 5 対象者

一般向け(参加費無料)

[ネット上にて参加申し込み受付中です!](http://bit.ly/1w7LGr8) <http://bit.ly/1w7LGr8>

